

第6分科会 第5回運営委員会記録（概要）

平成17年11月5日（土）

午後3時10分～4時40分

新宿清掃事務所会議室

1 参加委員（敬称略）

- ・ 区民委員：（1班）入江雅子、小宮一夫（2班）稲葉佳子、河村寛二（3班）梶村勝利、森田優子（4班）植木康次郎、中山一郎（5班）竹折富美子、森田忠幸（6班）上田尚子、高野 健（7班）鈴木幸展
 - ・ 学識委員（三田、伊藤）
- 計15名

2 議題

- （1）今後の作業について（以下の議題の確認を含める）
- （2）リーダー、サブリーダーの選出
- （3）レポートのとりまとめ
- （4）スケジュール表の共有
- （5）他分科会との調整活動

3 決定事項

（1）運営委員会の意思決定方法について

- ・ リーダー等の選出に先立ち、運営委員会での意思決定方法が懸案のままだったので、検討した。
- ・ 運営委員会での意思決定方法は、原則、全員一致の合意形成を目指すものとする。なお、合意に至らない場合は、その内容に応じて決定方法を検討するものとする。

（2）リーダー、サブリーダーの選出及び役割について

- ・ 選出方法は、運営委員からの自薦あるいは他薦とし、サブリーダーは男女で構成するものとする。
- ・ （敬称略）他薦により、リーダーに高野 健、サブリーダーに入江雅子、梶村勝利が選出され、3氏から了承が得られた。次回の分科会において報告・承認という手続きをとることとする。
- ・ 運営委員会の座長については、今後、リーダーに引き継ぐものとする。
- ・ 中間発表会WGには、リーダー、サブリーダーで調整し、参加していくものとする。

（3）レポートのとりまとめについて

- ・ 行政からの説明、中間報告、最終提言のイメージの3段階を意識して検討する必要がある。
- ・ 総合計画における全体の位置づけや用語の定義、また分科会からの改善案とのズレ（現在の基本計画でイメージされた将来あるべき姿とのズレ）について、行政の責

任ある役職から説明を受けたい。

- ・（事務局）責任ある区職員が出席して説明するにも、説明や質疑に会議の相当の時間を割いてしまうことは運営委員会で課題となっている。また、区組織を横断するような質問に対して、区から回答するという重要性を踏まえると、文書による質問形式として頂きたい。

（４）スケジュール表について

- ・事務局で運営委員会用に作成したスケジュール表について、分科会全体で共有していくこととする。あくまでイメージ案であることを踏まえて、スケジュールの厳しさに対する認識を共有化していく。

（５）次回の分科会の進行内容について

- ・進行役は、２班と３班の合同で担当する。
- ・次第は、①リーダー、サブリーダーの報告・承認、②多文化共生と地域安全のまとめ（案）のフィードバック、③その他、とする。
- ・次回までに運営委員会の開催は行わないため、高野委員、学識委員、事務局で連携をとって調整を図ることとする。

４ 発言内容等（抜粋）

- ・リーダー、サブリーダーなどの名称が馴染まない。
- ・リーダー、サブリーダーなどは要らない。
- ・発足時期が遅れているが、世話人会（リーダーと学識委員による構成）の設置については、名称なども当初から決定事項である。
- ・意思決定方法は、いろいろ考えられるが、まずは全員一致として、どうしても出来ないものは、内容によって決めたらどうか。
- ・リーダー等は、負担も多くなるので、自薦・他薦で選ばれた方にやっていただければ良い。
- ・区からの説明は、区民が求めているものと違うものがある。
- ・区の責任者といっても、人事異動によってスペシャリストは不在である。
- ・区民会議から出たものは、どのように使われるのか？出た意見をもっと深掘して、行政との対話の部分としたい。

５ 次回の運営委員会

- ・分科会終了後、１１月１９日（土）午後３時から４時４０分（予定）